

## 【泉区】令和8年第1回区づくり推進横浜市会議員会議 議事録

開催日時	令和8年2月6日 午前9時55分 ～ 午前11時00分
場 所	泉区総合庁舎4階4ABC会議室
出席者	<p>【座長】 梶村 充 議員、</p> <p>【議員：2人】 麓 理恵 議員、横山 勇太郎 議員</p> <p>【泉区：28人】 山口 区長</p> <p>金子 副区長</p> <p>瀧澤 福祉保健センター長</p> <p>志熊 泉消防署長</p> <p>ほか関係職員</p>
議 題	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 令和8年度泉区個性ある区づくり予算案について</li> <li>2 第5期泉わくわくプラン（泉区地域福祉保健計画）の区民意見募集結果と策定状況について（報告）</li> <li>3 横浜市松風学園再整備事業の進捗状況について</li> <li>4 泉区内における主な事業箇所の進捗について</li> <li>5 その他</li> </ol>

発 言 の 要 旨	<p><b>1 令和8年度泉区個性ある区づくり推進費予算案について</b></p> <p>麓議員：まず、区制40周年事業の取組が着実に進んでいるとのことで、大いに期待している。先日、郵便局の方から「記念切手を作りたい」という申し出があった。ぜひ実行委員会と区にお話しいただくようお願いしたが、現在の状況はどうか。</p> <p>室町区政推進課長：郵便局から区へお話をいただき、具体化に向けて打ち合わせを行っている段階。今後、実行委員会にもお諮りしながら検討を進める。</p> <p>麓議員：例えばいっずんカレーのイベント等で活用したり、地域のおまつりなどに郵便局がブース出展していただくなど、取組を広げていただきたい。</p> <p>また、資料には花苗の提供についての記載もあるが、GREEN×EXPOの期間中には多くの学校や幼稚園、保育園などの団体が訪れることになると思う。それを見据え、幼稚園・保育園・小学校にも花苗を配布し、</p>
--------------	---

具体的な形で GREEN×EXPO につながっていくよう取り組んでほしい。

金丸資源化推進担当課長：来年度、資源循環局が中心となり、小中高校において土壌混合法で生ごみを分解する取組を実施する。その土を活用し、GREEN×EXPO の会場に花壇を作る予定。参加したいがやり方が分からないという学校には、区や資源循環局の事務所が実演等でフォローする。区、局、事務所で連携して進めていく。

麓議員：ぜひ積極的に進めてほしい。GREEN×EXPO の横断幕なども、40 周年と合わせてまちのあちらこちらで目に入ると良いと思う。

続いて 10 ページ、「新たな担い手の発掘」の中で「よこむすび」が取り上げられている。講座の実施回数が示されているが、どのような方を対象に実施するのか。「よこむすび」のサイトに登録いただくことも重要だが、多くの区民にこの仕組みを知ってもらい、活用いただくことが必要。具体的にどう取り組むのか教えてほしい。

朝倉地域力推進担当課長：8 年度の地域力支援事業は、いずみわくわく応援隊とともに、新たな講座を実施していく。令和 6 年度の泉区区民意識調査では、地域活動に参加する条件として「気軽に参加できる活動がある」「参加する要件や時間が自分の都合に合っている」のであれば、参加したいとの回答が約 4 割だった。そういった状況に着目し、自治会・町内会が、担い手目線で参加しやすい形態や仕組みを作っていけるよう支援する。また担い手となる方々には、「よこむすび」を積極的に活用していただけるよう、区民活動支援センターや区社会福祉協議会、地域ケアプラザ等の人材や地域情報を活用し、取組を進めていく。

麓議員：知人が白百合愛児園で洗濯物を畳むボランティアをしているとお聞きし、そうした活動もあるのだと知った。そうした施設での活動や子育て応援、移動支援など様々なものがある。活動の裾野が広がるよう、努力いただきたい。

続いて 17 ページ、「地域防災拠点機能強化事業」について。今年の訓練で見た課題があれば教えてほしい。

野村総務課長：今年度の訓練は昨年より参加拠点が 1 つ増え、15 の地域防災拠点と本部で同時訓練を行った。具体的な事案を想定し、各拠点と本部の双方向で情報伝達訓練を行ったが、情報の整理や伝え方に課題があると感じた。具体的には、拠点から火災情報が入った後、15 分後に再度同じ拠点から火災情報が入った場合、同一事案なのか新規事案なのか判断しづらかった。また、無線操作に不慣れな職員がうまく応答

できなかつたりした。今後は参加拠点数を増やすだけでなく、訓練内容の充実を図り、区全体の防災力向上に取り組みたいと考えている。

麓議員：私もいろいろな拠点の訓練を見学させていただいているが、てこ入れが必要な拠点もあると感じる。そういった拠点へのアプローチはどのように考えているか。

野村総務課長：区としても、拠点ごとの習熟度の差を感じている。出前講座や防災アドバイザー派遣などを通じて支援していきたい。また、長期間訓練が実施されていなかった拠点については、少しでも動き出せるよう、区から働きかけるなどしている。

麓議員：しっかり支援していただきたい。てこ入れが必要な拠点には、防災訓練だけでなく、住民が集まる機会に短時間でも意識啓発を行う等も必要だと思うので、検討してほしい。

続いて、24 ページの民生委員・児童委員について。今年も横浜市では200人以上の欠員があったと聞いている。泉区の状況と、複数地区を担当されている委員の方の負担軽減について教えてほしい。

岩井福祉保健課長：泉区では12月1日に一斉改選があり、定数193人に対し174人に委嘱状をお渡しした。現在19人が欠員となっている。改選のタイミングでは後任が見つからず欠員が増えるという事象が3年ごとに発生している状況。

複数地区をカバーいただいている委員の方々については、負担軽減策として、泉区民生委員児童委員協議会に対し泉区独自の補助金を交付している。

麓議員：19人が欠員とのことだが、地域的な偏りはあるか。

岩井福祉保健課長：特段の偏りはない。

横山議員：資料2ページの「記念デザインマンホール蓋」について詳しく教えてほしい。何枚作るのか、1枚あたりの単価や設置場所、盗難防止対策などはあるか。

小林泉土木事務所副所長：デザインマンホールについては現在、製作と設置に向けて関係部署と調整中。デザインは区制40周年記念のロゴマークがベースとなる。設置場所はまだ決まっていないが、区役所、駅前、水辺拠点など、PR効果の高い場所を中心に4、5か所程度を予定している。安全性を考慮し、車道には設置しない。設置時期は年内を目標に進めていきたい。

横山議員：たとえば、区内のすべてのデザインマンホールを回って写真に

撮ると区長と握手ができるというような楽しい企画があってもいいのではないか。子どもたちの記念にもなる。今後、実行委員会で検討いただければと思う。

また、15ページの「泉区民ふれあいまつり」事業については、40周年記念事業と関連付けるのか。

塩谷地域振興課長：11月3日に40周年の式典と「泉区民ふれあいまつり」を同日開催する。来場者を相互に誘導できるよう、実行委員会と調整していく。

横山議員：せっかくの40周年なので、区民の方々に脚光が当たる機会があると良いのではないか。たとえば、区内の東西南北端や、最も標高が高いところに住んでいる方にふれあいまつりのステージにお越しただくとか、区内で一番多い名字を調べてみるとか。お金をかけなくてもできる企画はある。ぜひ検討いただきたい。

梶村議員：資料7ページ、都市計画マスタープランの区プラン改定について。現在、新たな中期計画においては「ダブルコア」の構想が掲げられており、上瀬谷地区周辺を郊外部のコアと位置づけられている。また、上瀬谷からいずみ中央・立場にかけ、環状4号線等を活用した新たな交通網の構想もある。深谷通信所跡地などの資源もあるため、泉区の区プランにおいては、ダブルコアの一角としての存在感を示してほしい。

山口区長：その点については、区としても大変期待している。いままでの都市計画マスタープランは市プランと18区プランで構成されていたが、今回は市プランと区プランの間に、市全域を4エリア程度に分けた「地域別方針」が策定される。地域別方針の素案は来年度から検討に入り、区プランは前半、後半に分けて改定作業が行われる。泉区では、来年度、地域別方針と合わせて区別計画素案の策定に着手するので、それらの要素をしっかりと書き込めるよう、進めていきたい。

梶村議員：先日、GREEN×EXPOの工事状況を視察するため環状4号線を使った。泉区では道路が空いていたが、瀬谷区に入った途端周辺が賑やかになり、道路も混んでいた。ぜひダブルコア構想を踏まえ、泉区でも取組を進めてもらいたい。

また、資料28ページの「泉区食生活等改善推進員40周年記念レシピ集」はいつ頃完成するのか。

岩井福祉保健課長：年内を目指しているが、40周年記念イベントが11月に実施されるので、それまでに完成できるよう努力している。

麓議員：衆議院選挙の期日前投票が始まっている。現時点での投票所の利用状況はどうか。また、期日前投票所では地域の方が立会人として従事されているが、その延べ人数を教えてください。

野村総務課長：2月5日時点で約1万7千人が期日前投票しており、全有権者の約15%程度にあたる。立会人の方は、区役所と立場地区センターの各会場に2名ずつ従事いただいている。区役所が11日間、立場地区センターが8日間となるため、期日前投票だけで延べ38名に従事いただくことになる。

麓議員：投票所に長い時間いる必要があるということで、ご苦勞をおかけする。期日前投票所については、市選管とも議論が必要だが、緑園都市周辺やゆめが丘ソラトス内などに増やせると良いと思う。立場地区センターは駅からやや離れている点を心配している。今後の投票所運営状況も踏まえ、あり方の検討をお願いしたい。

## 2 第5期泉わくわくプラン(泉区地域福祉保健計画)の区民意見募集結果と策定状況について(報告)

とくになし

## 3 横浜市松風学園再整備事業の進捗状況について

梶村議員：「まつかぜ」には何人くらい入所しているのか。

畑下健康福祉局障害施設サービス課整備推進担当係長：定員が40名で、現在ほぼ満員となっている。

梶村議員：木造の建物だと思うが、評判はどうか。

畑下健康福祉局障害施設サービス課整備推進担当係長：温かい雰囲気づくりであり、とても良いと思う。

## 4 泉区内における主な事業箇所の進捗について

横山議員：和泉町第319号線に関連して伺う。開発されて病院ができたあたりは豪雨時に水はけが悪く、4号線が水浸しになる状況がある。改良を検討するとのことだったと思うが、その後の進捗は。

小林泉土木事務所副所長：ご要望を受け雨水管の整備をしており、今年度中に整備が完了する予定。

横山議員：坂の下に管を入れるのではなく、別の工法で整備しているのか。

小林泉土木事務所副所長：もともと雨水管がなかった場所になるため、新たに大きな雨水管を整備している。

梶村議員：岡津地区の権太坂和泉線の整備がいよいよ始まると聞いているが、そのことを土木事務所も把握しているか。

小林泉土木事務所副所長：局ともやりとりをしており、用地買収に向けた準備、調整を進めていると聞いている。

## 5 その他

横山議員：和泉中央付近に、泉小次郎親衡に由来する史跡が点在しており、横浜市地域史跡として登録されている。そのうちの 하나가民有地の斜面にあるが、樹木の管理が難しい状況がある。周囲が住宅で、近隣への落枝、落葉などの懸念もある。地域史跡としての登録見直しや今後の土地の扱いについて検討したいと考えているが、内容が複雑になる可能性もあるので、その際は区にもお手伝いいただきたいと思う。

梶村議員：いずみ中央駅を降りて須賀神社方面に向かう道について、200メートルくらいに渡り照明がない。駅から下和泉方面に向かう人が使う道で、通行する人も多い。局にも伝えているが、なんとかいい方法がないかと思っている。

塩谷地域振興課長：先日、町内会長からも防犯灯という形での設置ができないかご相談をいただいた。防犯灯については、局への申請が通れば設置が可能。照明については、まぶしいとおっしゃる方もいるので、申請の際は自治会の総意に基づいてご検討いただきたい旨お伝えしている。電柱がない箇所は防犯灯の設置が難しいため、人感センサーや太陽光式の照明など別の手段も含めお伝えし、ご検討いただいている。